

病害虫発生予察注意報第 1 号

佐賀県

タマネギべと病については、病害虫対策資料第 12 号（令和 4 年 3 月 7 日付け）を発表し、注意喚起を行ってきたところですが、一次感染株の発生がさらに増加しており、二次感染のリスクが高まっています。3 月は、本病の主要な感染時期に入っていることから、以下を参考に、防除対策を確実に実施してください。

作物名：タマネギ（早生・中晩生品種）

病害虫名：べと病

1. 注意報の内容

発生地域：県内全域

発生量：平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) 現在の発生状況（令和 4 年 3 月 14～15 日調査）

(1) 県内のマルチ栽培 8 圃場（早生品種主体）の定期調査では、べと病の一次感染株の平均発生株率は 0.81% で、過去 5 か年平均（0.09%）より高かった（図 1）。発生圃場率は 88% であった。また、一部の圃場では、二次感染株がみられた。

(2) 県内の露地栽培 10 圃場（中晩生品種主体）の定期調査では、一次感染株の平均発生株率は 1.09% で、過去 5 か年平均（0.29%）より高かった（図 2）。発生圃場率は 80% であった。

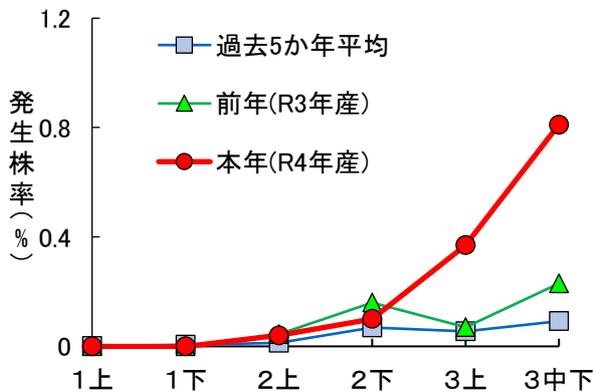


図1 マルチ栽培タマネギでの一次感染株の発生推移

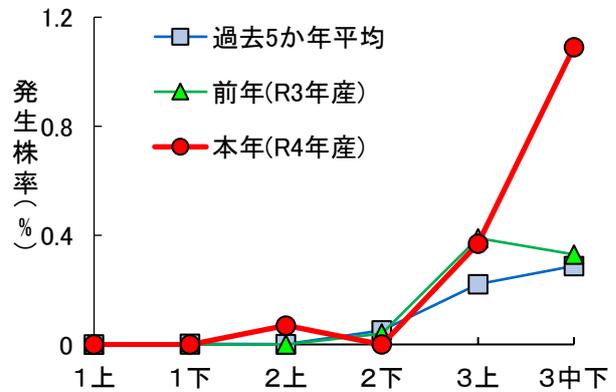


図2 露地栽培タマネギでの一次感染株の発生推移

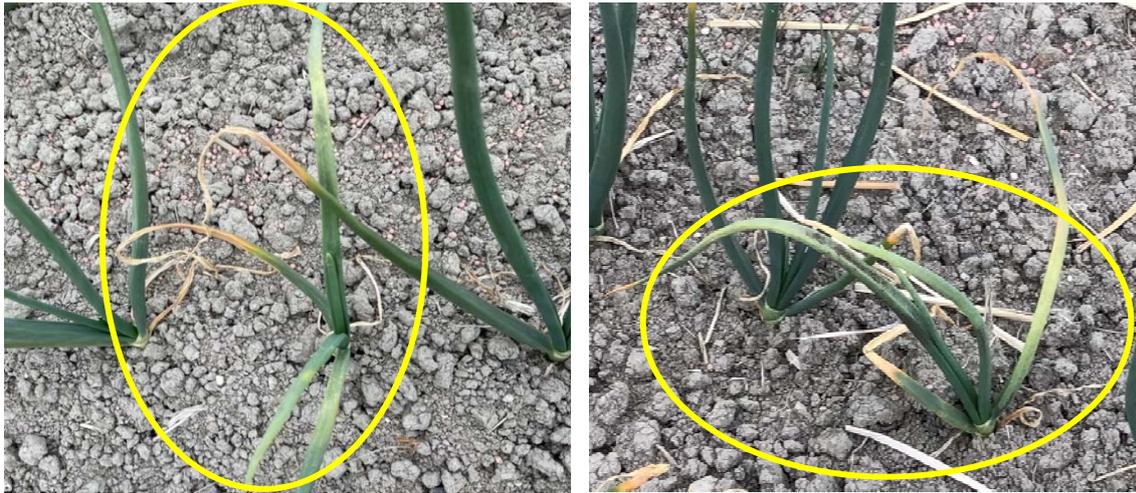


写真 定期調査圃場におけるべと病一次感染株の発生(令和4年3月14日撮影)

2) 今後の発生予想

- (1) 気象解析の結果、本病菌の感染・準感染好適条件が3月12日～14日に出現した。今後、約2週間の潜伏期間を経て、さらに発病が増加する可能性がある。
- (2) さらに、九州北部地方の1か月予報（福岡管区气象台3月10日発表）では、天気は数日の周期で変わると予想されている。このため、曇雨天等の感染に好適な気象条件が出現した場合は、さらに感染が助長されると予想される。

3. 防除上注意すべき事項

一次感染株に形成された分生孢子によって、タマネギが二次感染する。現在、二次感染のリスクが高まっていることから「一次感染株の抜き取り」と「薬剤防除による二次感染の予防」の両方の対策を徹底する。

(1) 一次感染株の抜き取り

各地域で一次感染株の発生が増加していることから、圃場の見回りをこまめに行い、発生を認めた場合には直ちに抜き取る。抜き取った株は圃場に放置せず適切に処分する。

(2) 薬剤防除による二次感染の予防

最新の気象予報や各地域の防除暦に基づいて、薬剤による降雨前の予防散布を徹底する。防除対策の詳細については、佐賀県病害虫防除のてびき〈麦類・野菜・花き・飼料作物〉も参照する（p261～264）。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321899/index.html>

